

のとキリシマツツジ咲く里山を

歩いた走った



# 第29回猿鬼歩こう走ろう健康大会結果

※表示は順位、氏名(所属/地域)、記録の順

## 1部ハーフ 高校生～49歳男子

①北山和彦(石川陸協) 1:15:05 ②池野一成 ③石切大樹

## 第2部ハーフ 50歳以上男子

①大富宏一(加賀トラクラブ) 1:21:19 ②多間利一 ③山寺信昭

## 第3部ハーフ 高校生以上女子

①折戸小百合(石川県庁TC) 1:33:36 ②三味美帆子 ③中村明美

## 第4部10km 高校生～49歳男子

①坂野光(星稜高等学校) 0:35:39 ②竹森賢生 ③本間貴幸

## 第5部10km 50歳以上男子

①木下孝浩(TAMA-RC) 0:38:26 ②森田達也 ③盛本浩志

## 第6部10km 高校生～49歳女子

①道下 恵(七尾市) 0:43:28 ②中出倫留 ③藤田涼香

## 第7部10km 50歳以上女子

①東 郁子(富山県) 0:45:34 ②大橋ひとみ ③荒木佳子

## 第8部5km 高校生～49歳男子

①道越和宏(富山県) 0:20:44 ②濱谷芳嗣 ③池田直隆

## 第9部5km 50歳以上男子

①水野敏博(みずの眼科RC) 0:18:44 ②松山和能 ③西村美津雄

## 第10部5km 高校生～49歳女子

①中谷晶子(鳳珠郡) 0:25:26 ②井口紗希子 ③坪内桃子

## 第11部5km 50歳以上女子

①泉崎利恵子(珠洲市) 0:27:06 ②上田千寿代 ③奥宮妙子

## 第12部3km 高校生以上男子

①田中大輝(金沢市) 0:09:29 ②佐竹大輝 ③木下拓海

## 第13部3km 高校生以上女子

①森 玲奈(七尾市) 0:11:03 ②町 夏帆 ③藤井美裕

## 第14部3km 中学生男子

①町 棧吾(七尾市) 0:09:41 ②森 諒人 ③佐竹 翔

## 第15部3km 中学生女子

①町 優花(七尾市) 0:11:15 ②和田歩美 ③佐藤彩菜

## 第16部3km 小学生男子

①瀬川翔誠(砺波東部AC) 0:10:47 ②松野 陸 ③定塚利心

## 第17部3km 小学生女子

①吉田七渚(鹿島AC) 0:11:22 ②新野莉璃 ③前濱咲良



ゲストランナーの赤羽有紀子さんは5キロを走った。

**歩** ころの部は6<sup>キ</sup>、10<sup>キ</sup>、16<sup>キ</sup>の3コースがあり、満開を迎えた町花・のとキリシマツツジ鑑賞しながら歩くことができます。走ろうの部は年齢と距離、性別によって17部門に分けられていて、ハーフマラソンと10<sup>キ</sup>は日本陸連の公認コースです。自分の記録に挑戦する人や里山の風景を楽しみながらゆっくり歩く人など、それぞれ自分のペースで、健康を意識しながら一歩一歩足を進めていました。

会場では県立看護大の学生が体力測定などのブースを設



6キロを完歩したゲストの梅佳代さん。

置し、健康づくりを支援しました。

アトラクションでは「鼓友」と「神野創神太鼓」が力強い演奏を披露。会場から大きな拍手が贈られました。



アトラクションでは2団体が太鼓を披露

**今** 大会で29回を数える「猿鬼歩こう走ろう健康大会」は5月10日、柳田体育館周辺を主会場に開かれました。周辺はNPO法人のとキリシマツツジの郷が丹精した深紅の花で彩られました。今年がゲストランナーに元オリンピック選手でホクレンスポーツアンバサダーの赤羽有紀子さん、ゲストとして

地元出身の写真家・梅佳代さんが参加しました。天候に恵まれ、今大会には県内外から1175人が参加。開会式では柳田小学校6年の堀内鼓太君と石垣ルイさんが力強く選手宣誓を行いました。部門別に選手たちがスタートすると、町太鼓連響の会員によって力強く太鼓が打ち鳴らされ、選手たちを鼓舞しました。



選手宣誓する柳田小6年の堀内鼓太君と石垣ルイさん



## 九里川尻フラワー愛好会 キリコ橋へ伸びる桃色の帯



道路や河川を養子に見立てて、地域団体が管理する「いしかわ我がまちアドプト制度」。「九里川尻フラワー愛好会」は平成25年から九里川尻川の清掃活動を続けています。愛好会のサポート企業・株式会社能登来楽福の久保田勝夫さんは、除草の手間を減らすため、雑草に強いナデシコ科の花「ライオンロック」を川沿いに植えています。5月15日ごろに満開を迎え、桃色の帯が登場しました。

「能登町を訪れる人に、きれいな風景を見てもらいたい」と話す久保田さん。「私たちの取り組みを見て美化活動が広がり、地域の宝を磨くことで、魅力ある町になってほしい」と地域の活性化に期待を寄せました。

# 花の力で、人と町を元気に！



秋吉遊休農地対策部会は、地域活性化につなげようと3年前から、耕作放棄地を活用して菜の花畑を作っています。菜の花畑は3ヘクタールにも及び、そのうち1ヘクタールには迷路が作られています。4月23日、松波保育園の年長組13人が満開を迎えた花畑を訪れ、迷路や散策、紙芝居を楽しみました。園児たちは「楽しい」と言いながら、何往復も元気いっぱい走っていました。秋吉公民館手作りの紙芝居「あまめはぎ」も披露され、園児たちはたっぷりと春の一日を楽しみました。

秋吉菜の花街道  
一面広がる黄色いじゅうたん



柳田食産株式会社  
スパークリングワイン

町が出資する第三セクター、柳田食産株式会社は4月23日、地元の食材を使った新商品を発売しました。3年ぶりにブルーベリーワインやジャムのデザインを一新して、「notono」という新ブランドを立ち上げました。notonoには、長年の悲願だったスパークリングワインも含まれます。ワインやサイダー、ジャムなどに使われるブルーベリーは町で生産された無農薬の実を使用しています。ブルーベリーの他にも奥能登産のリンゴやイチジク、赤崎イチゴを使用したジャムが用意されています。地元産にこだわり、能登の素材を感じられる商品構成を目指します。

## 里山の青い宝石 ブルーベリー新商品で地域振興

加賀市に本社がある株式会社Anteは、能登のブルーベリーを使用したサイダー「青のしずく」を発売しました。同社は珠洲市産の塩を使った「しおサイダー」を販売している企画会社です。中巳出理社長が27日、天坂の直売所「能海山市場」を訪れ、ブルーベリーの生産農家と乾杯し、発売を祝いました。中巳出社長は「次回はプレミアムなど、こだわったものを作りたい」とさらなる商品開発に意欲を見せました。サイダーの収益の一部はブルーベリー生産振興にあてられます。

株式会社Ante  
サイダー「青のしずく」

